

みんな死んでしまうという事が起こる。これをやらないようにするのは、何をするか。これは物理的に上から柵を落とせばいいのです。この所、点々で書いているのは柵なのです。上から降りてくれれば、何を言っても入れないのだから。このくらいのバカみたいな柵を落とせばいいと言っているのだけど、絶対できませんと、首都の何とか公団は言っています。「そんな馬鹿な事を言わないでやれ」と言ったら、もっとヨーロッパはもっとすごい、ヨーロッパの高速道路はソ連の戦車が来ないように、下からよつきり杭が出るのだと教えてくれた。だから、50トンクラス位の戦車が来ても、通過が出来ないように下から杭が出てくるのだそうだ。それと同じで、どうせ、自動車だから大したことはないから、上から2、3本電信柱を落とせばいいのです。そんなものくらいつけて出来ないわけがないのに、やろうとしない。みんなが信号なんて守ると、誰も見てなきゃ、信号を守らないで平気でいる人たちになっている事を見なければいけない。

次は液状化による地下鉄の閉じこめです。これは特に隅田川の下をいっぱい通っているのですよ。橋の下というのは、全部薬液注入をして、固めて浮かないようにします。そうしないと地下鉄の内部が浮力で浮いてしまうからです。そうすると、本当にそこに浮かないようになっているのに、橋から外れた所の奴は、固体の処理はやってありません。ですから、全部液状化して、地下鉄のチューブというのは、全部浮きます。そうすると堤防の終わった所でああやって、中に入っている地下鉄は全部閉じこめられて、生き埋めです。一両に200人乗っているとして、一番の満員電車の時に、一番多いと10両編成くらいになっているから、2000人くらいが生き埋めになるのですよ。今言っているように、数字で言って、これだけの事を言ったとしても、生き埋めになりますというのを誰も言わなくなった。土木屋もずいぶん怠慢で、30年前は酒を飲むとみんな議論をしていたのですが、この頃は誰も言わない。どうして言わないのというと、もう誰も考えなくなったからですと。それはいけない。今からでもすぐに出来る対策があるのです。それは堤防の所から、非常脱出用の穴を掘ったらしいのです。大してお金はかかるないのだから、堤防の両側に非常脱出用の階段を造ればいいのです。それ

で対策はできるのです。でも、やればいいのにこんな事は考えない。これは、誰も本当の意味の国土の保全を考えなくなってしまったという結果です。

これは先ほど一本足のものです。この位の形でやっている。神戸の所で倒れたのと同じか同じでないかは知りません。真ん中は神田川です。左側は道路のようになっていますが、道路の下は実は神田川と同じくらい、水量を倍に流すために、川になっています。ですから一本足がこんなふうにつつ立っているのです。補強工事をやっているけど、僕はこれでは不十分だと言っているのです。

これは先ほど言った、首都高の山手通りの下の工事です。だいぶ、完成していくてもうちょっとすると開通します。

これは今の都市土木というのがいかに大変かなのです。全部埋設物がある所に道路工事をやるから、こうやってNTTばかりになっているけど、NTTのはまだ可愛くて細いのです。しかし下水の管だと2メートルくらいある。それよりもっとすごいのは走っている地下鉄ですよ。地下鉄の通っているチューブの奴が丸いのもあるし、四角いのもあるけど、大体4メートルかそれくらいの直径の物をなんと上から宙づりにして、下を掘っているのです。こういう工事があっちもこっちもいっぱいある。それで、一番の典型はこれです。ここから30メートルくらい下まで掘っているのですよ。左側の所にあるのが、東京の中央線の東中野駅です。そして、ここを2分に1本ずつ電車が走っているわけです。その下をこのように横を通るのだけど、高速道路が通つて、地下鉄が横切っているのです。一般道路がこの横を通つて、こんな難しい事をやっている。ついに三ヵ月くらい前に山手線は、この横にある押し管工法でやっているのが、コンクリートが吹き出して、線路が持ち上がって、3時間か4時間止まってしまった。ここも全く同じ工事をやっているけど、すごい。レーザーで直進運動を見ながら、目視でこいつを見ているのです。何かあつたら、電車をすぐに止めるというので、それをやっているから、これは起らぬのだけど。ちゃんとウォッチしているから、電車を止められて、今のところ事故が起らぬけれど、東京中こういうふうに縦、横、斜めにいろいろなほじくり